

こっこめ通信 06 2013

「見えない時は虫メガネ！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

5月29日八丈島を含む関東甲信越地方の梅雨入りが発表されました。例年、島では梅雨入り前から雨が降り続きますが、今年は全く降っていません。この先どれくらい降るのでしょうか？また、15日以降、黒潮の蛇行により八丈島周辺の海水温が低くなっています。そのため、前線が近づき、南寄りの風が吹くと霧の発生する日が増えてきそうです。キノコたちは喜ぶかもしれませんが、飛行機の欠航する日が増えるのは困ったものです。

さて、今回は「翅の生えてるアブラムシ」「ゴールデンウィークの行事」についてのお話です。

翅の生えているアブラムシ

誰もが知っているアブラムシ。でもアブラムシがどのような生活をしているか知っていますか？

アブラムシは、半翅目ヨコバイ亜目に分類され、セミやカイガラムシに近い仲間になります。でもいつも見ているアブラムシには翅がないですね。実は翅のあるアブラムシは有翅型と呼ばれ、移動や分散をするためのタイプなのです。アブラムシの集まっているコロニーの中をよく見ると飛び立つ前の有翅型がいることが多いです。

そこで、春から初夏にかけて移動や分散が始まる翅のあるアブラムシを見つけて撮影してみました。肉眼では見えにくいですが、近年のデジカメでは結構良く撮れるものです。皆さんも探して見比べてみてください！



アブラムシは寄生植物が決まっていますが、寄主転換をする種もあります。有翅型のアブラムシを撮影していると寄生植物ではない場所に降り立っていることもあるので種の特定は難しそうです。その為、紹介している写真は寄生植物と撮影した日だけにとどめ、種名までは調べていません。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

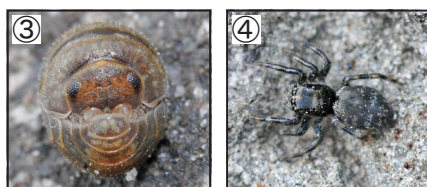
ゴールデンウィークの行事

今年のGWは4月の前半と5月の後半にはっきりと分かれてしまいました。このような短期のお休みになると、飛行機であっという間の八丈島あたりが丁度いいのですが、飛行機はすぐに満席になってしまいます。それでものんびりと船で来島される方もたくさんいらっしゃいました。また、町が管理しているキャンプ場もテントを張る場所がなくなってしまふほどで、植物公園にまで問い合わせの電話がかかってきました。残念ながら、公園内はテントが張れないので、宿泊先を観光協会に問い合わせさせていただくようにしました。

GW期間中はビジターセンターでもいろいろな特別行事を開催しました。天候がとても良かったこともあり、午前中開催の行事の参加が伸び悩んでしまいました（右表：開催行事と参加者数）。

天気の良い時は、海や山などのフィールドに出て遊んだ方がいいですね。遊び疲れた後でも良いのでビジターセンターに遊びに来てほしいです。

開催日	行事名	定員	参加者
4月27日	バードウォッチング入門（午前）	10名	0名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	30名
4月28日	バードウォッチング入門（午前）	10名	1名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	6名
4月29日	八丈富士ハイキング（1日）	20名	3名
	バードウォッチング入門（午前）	10名	11名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	6名
5月3日	バードウォッチング入門（午前）	10名	9名
	草木染め体験教室（午後）	10名	10名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	22名
5月4日	バードウォッチング入門（午前）	10名	2名
	海岸で遊ぼう（午後）	15名	5名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	25名
5月5日	早朝探鳥会（早朝）	15名	8名
	バードウォッチング入門（午前）	10名	0名
	沢の小径探鳥会（午後）	10名	7名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	17名
5月6日	バードウォッチング入門（午前）	10名	2名
	体験八丈太鼓（午後）	なし	9名



今年開催した中から、小学生と保護者を対象として5月4日に開催した「海岸で遊ぼう」を紹介します。

まず、参加者には生きものが書かれているシートとマジック（シートに記入するため）、虫メガネが付いたネックストラップ（写真左）を渡しました。このシートに書かれている生きものを探すのが、**今回のミッションです！**歩く道は約1km。探す生きものはとても小さかったり、一部しか写っていなかったり、海岸ならではのものばかり。一人では探しきれないので、参加者みんなで力を合わせ探してもらいます。見つけにくい生きものに関しては少しヒントを出して探してもらいました。

シートに書かれた生きものを一部紹介すると、①は、「エボシガイ」。貝のように見えますがフジツボなどの仲間で漂着物に付着して生活しています。流れ着いた木片などを探すと見つかります（写真下中）。②は、「ヤマトミナミシミ」。大きさは1cmほど、フナムシに似ていますが、尾端に3本の尾があります。家の中で本に穴を開ける虫、「紙魚・衣魚」の仲間です。飛沫帯の石の裏側などを探すと見つかります。③は、「ハマダンゴムシ」。普段見るオカダンゴムシに似ています。虫メガネでお尻の部分をよく観察してもらいます（写真下左）。④は、「イソハエトリ」。とても小さな黒いクモで、海岸の石の上をピョンピョンと跳ねて移動しています。

すべて見つかりませんが、記入したシートは持ち帰って、今度海岸に来た時に探してもらうことにします。何もいないような海岸にもたくさんの生きものがいること、そしてそれらをよく観察することでいろいろと見えてくることもあるのです。また、最終地点の目の前には八丈小島があり、先日発見されて、今後繁殖の期待があるクロアシアホウドリについても少しお話をしました。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月12日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成25年第5回）参加者：沖山、茂手木、菊池昭、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			37	トキワハゼ	花	シダ植物		
1	アオカモジグサ	花	38	ドクダミ	花	1	ウチワゴケ	
2	アオスゲ	花	39	ニワゼキショウ	花と実	2	オオイタチシダ	
3	アワゴケ	花	40	ヌカススキ	実	3	オオタニワタリ	
4	イワニガナ	花	41	ヌカボ	花	4	オニヤブソテツ	
5	ウスベニニガナ	花	42	ノゲシ	花	5	スギナ	
6	ウラジロチチコグサ	花	43	ハキダメギク	花	6	タチクラマゴケ	胞子葉
7	オオアレチノギク	花	44	ハハコグサ	花	7	タチシノブ	胞子葉
8	オオトキワツユクサ	花	45	ハルジオン	花	8	タマシダ	
9	オオニワゼキショウ	花と実	46	ヒエガエリ	花	9	ナチシケシダ	
10	オオバコ	実	47	ヒナギキョウ	班	10	ノキシノブ	
11	オニタビラコ	花	48	ヒメコバンソウ	実	11	ハカタシダ	
12	カタバミ	花と実	49	フウトウカズラ	花	12	ハチジョウカナワラビ	
13	カニツリグサ	花と実	50	ミゾイチゴツナギ	実	13	ハチジョウシダ	
14	カモジグサ	花	51	ミツバ	蕾	14	ハチジョウベニシダ	
15	カラスノエンドウ	花と実	52	ムラサキカタバミ	花	15	ヒトツバ	
16	ギシギシ	実	53	ヤマヌカボ	実	16	ホシダ	
17	キランソウ	花				17	ホラシノブ	
18	ケキツネノボタン	花と実				18	マメツタ	
19	コケミズ	実	木本			19	ミゾシダ	
20	コケリンドウ	花	1	アカメガシワ	蕾	20	ヤマイタチシダ	
21	コナスビ	花と実	2	イヌビワ	実	今回はシダ植物20種を含む90種の植物を観察しました。確実に同定できなかった植物は記録していません。		
22	コメツブツメクサ	花	3	エノキ	実			
23	コモチマンネングサ	花	4	ガクアジサイ	花			
24	シチトウスミレ	花と閉鎖花	5	サカキカズラ	花			
25	シマササバラ	蕾	6	シマモクセイ	実			
26	シロバナマンテマ	花と実	7	シロダモ	新葉			
27	スイカズラ	花	8	テイカカズラ	花			
28	スズメノカタビラ	実	9	トベラ	若い実			
29	スズメノテッポウ	花	10	ハゼノキ	花			
30	セイヨウタンポポ	花と実	11	ハチジョウイボタ	花、咲き始め			
31	タチイヌノフグリ	花と実	12	ハチジョウキブシ	実			
32	チガヤ	花	13	ヒメユズリハ	花			
33	チチコグサ	花と実	14	ホウライカズラ	蕾と実の虫コブ			
34	チチコグサモドキ	花	15	ヤブツバキ	実			
35	ツメクサ	花と実	16	ヤブニッケイ	蕾			
36	トウバナ	実	17	ヤマモモ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「エノキ」にスポットを当ててみたいと思います。



エノキ

Celtis sinensis

ニレ科の落葉高木。本州、四国、九州、沖縄に分布しています。
 高さは20mにもなり、よく枝分かれをして横に大きく広がります。
 葉はテングチョウの幼虫の食草で、最近ではマイマイガの幼虫に食べ
 尽くされている木も目立ちます。実は鳥たちの大好物です。
 春先からフワフワしたエノキワタアブラムシが付きます。

2013 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			 この色の日 は 特別行事があります			 1 ガイドウォーク 10 : 22 04 : 58 23 : 41 16 : 39
2 ガイドウォーク 12 : 15 06 : 20 17 : 48	3 00 : 33 07 : 29 13 : 59 19 : 04	4 01 : 23 08 : 22 15 : 11 20 : 13	芒種 5 02 : 08 09 : 05 16 : 02 21 : 09	6 02 : 49 09 : 43 16 : 43 21 : 55	7 03 : 27 10 : 18 17 : 18 22 : 34	8 ガイドウォーク 04 : 03 10 : 52 17 : 52 23 : 09
 9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 04 : 37 11 : 25 18 : 23 23 : 42	10 05 : 11 11 : 58 18 : 54	11 05 : 44 00 : 13 19 : 25 12 : 31	12 06 : 17 00 : 45 19 : 57 13 : 05	13 06 : 53 01 : 21 20 : 30 13 : 39	14 07 : 32 02 : 01 21 : 05 14 : 16	15 ガイドウォーク 08 : 19 02 : 50 21 : 45 14 : 57
16 ガイドウォーク 09 : 23 03 : 51 22 : 31 15 : 45	 17 10 : 54 05 : 05 23 : 23 16 : 46	18 12 : 44 06 : 21 18 : 00	19 00 : 20 07 : 28 14 : 16 19 : 20	20 01 : 17 08 : 25 15 : 26 20 : 32	夏至 21 02 : 11 09 : 17 16 : 24 21 : 33	22 ガイドウォーク 八文学講座 「沢の小径自然観察会」 03 : 02 10 : 05 17 : 14 22 : 26
 23 ガイドウォーク 03 : 51 10 : 52 18 : 01 23 : 13	24 04 : 39 11 : 37 18 : 45 23 : 58	25 05 : 27 12 : 21 19 : 26	26 06 : 15 00 : 43 20 : 04 13 : 04	27 07 : 04 01 : 29 20 : 40 13 : 46	28 07 : 55 02 : 17 21 : 15 14 : 26	29 ガイドウォーク 08 : 51 03 : 11 21 : 50 15 : 05
 30 10 : 02 04 : 14 22 : 29 15 : 46						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6 / 9 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15 名

八文学講座 「沢の小径自然観察会」

毎月行っている八文学講座。中之郷えこあぐりまーと近くにある沢の小径で自然観察会を行います。
6 / 22 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
えこあぐりまーと集合・解散 参加費：50 円 定員：15 名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.6.1 第 145 号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷 2 8 4 3
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

アブラムシを探していると、全く動かないアブラムシがいます。よく見ると背中に丸い穴が空いていました。これは“マミー”と呼ばれ、アブラバチの仲間が寄生して出て行った抜け殻でした。丸い穴は出口だったわけです。小さなアブラムシの世界も大変なんですね。(高)